

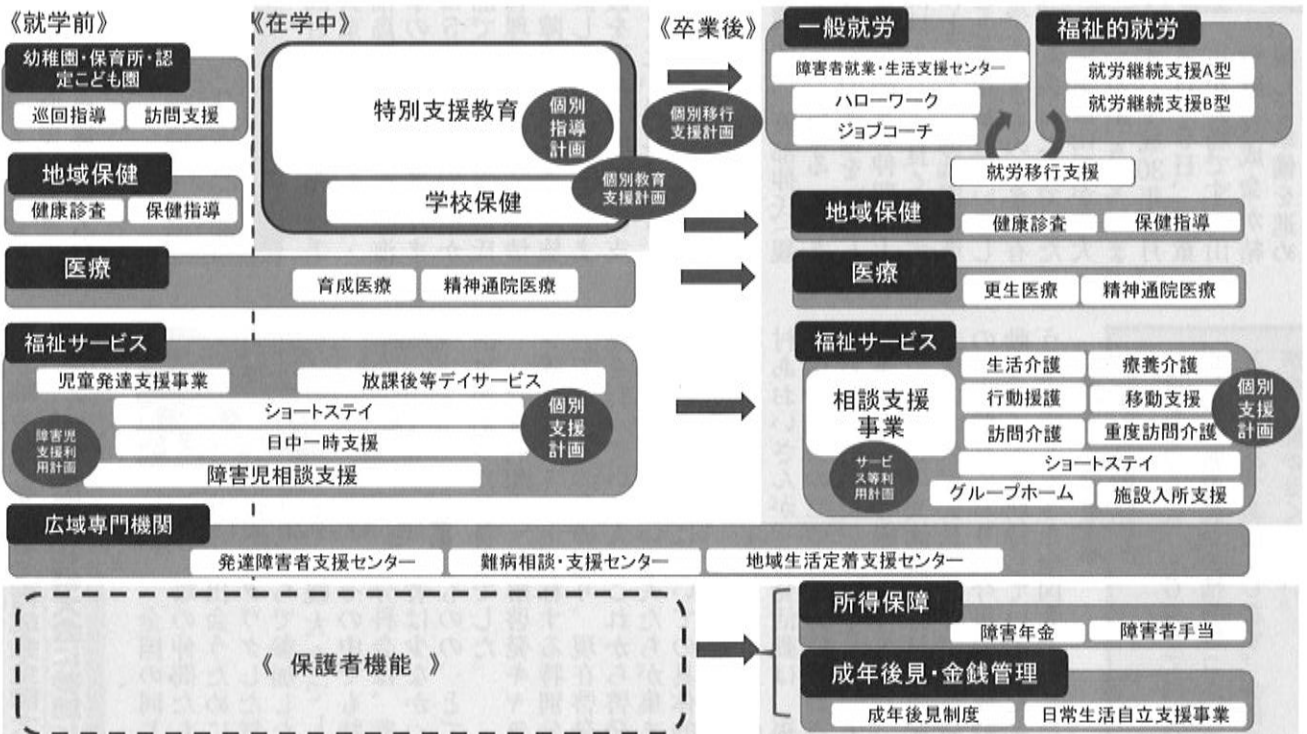
より良い地域暮らしの実現



大村美保氏のわかりやすい話

7月28日は、大村美保氏（筑波大学助教・社会福祉学博士）をお招きしました。参加者も予定をはるかに超える85名となり、山形市総合福祉センター交流ホールで行いました。障がい者の地域生活を支えるサービスは複雑になっています。それは地域における利用者の多様なニーズに対応するためです。それを十分理解し活用することが求められています。提供側もそれぞれのニーズに合ったサービスを行う必要があります。それが合致してこそ互いの満足が得られることになります。

人と違ってごく限られていることに気づくことです。選択肢が極めて限られています。障がい者は親や施設などしか頼るものがありません。それをさらに拡大していかなければならないのです。大村氏は「ライフストリー」を提案されました。本人に関する生活や人生についての記録づくりです。定期的な見直しによって本人をより理解できる手助けのツールになるといいます。



障がい児者のライフステージに即した医療・教育・保健・福祉・労働等のサービス概要

## ぜんちの こども傷害保険

権利擁護補償付傷害保険 (2015年創設)

個人賠償 弁護士費用 ケガ入院・通院

- ◎ 個人賠償責任補償
- ◎ 権利擁護費用補償 (弁護士費用)
- ◎ ケガでの入通院保障

特別支援学級に通う児童・生徒のために開発された、障がい児のための専用保険です。知的障がいや発達障がいのある子どもたちを、事故や虐待被害などからお守りし、安心した学校生活を送っていただけます。

詳しい資料のご用命は、下記代理店にお願いいたします。

◎取扱代理店  
**株式会社 エフシーバンク** TEL 022-348-4481  
〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山3-11-18

◎引受保険会社  
**ぜんち共済株式会社**  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号 岩本町シティプラザビル5階



10月4日  
第16回知的障がい者  
レクリエーション大会開催



車いす玉入れ

平成29年度山形県知的障がい者レクリエーション大会も第16回を数えることになりました。今年の参加団体は33団体、参加選手が888人、スタッフ・ボランティアが1111人でした。10月4日、山形県運動公園「屋内多目的コート」で行いました。昨年に引き続きの場所となりました。天候に左右されず、コンパクトにまとめたレクリエーション大会にする事ができました。いつものとおり「サブグラウンド」がいいか、「屋内多目的コート」にするかで前日に様々協議した結果に決定したものです。当日は、急な冷え込みもあり、結果的には良い判断でした。当然、「サブグラウンド」で予定していた種目は変更しての実施となりました。100m走、200m走は全て50m走で行いました。また、綱引きは場所の関係もあって、玉入れに変更しました。リレーはコーン折り返しによるバトンリレーで行いました。車いす玉入れも初めて行ったのは好評でした。

応援も熱のあるものになりました。今年も「せせらぎの家」が応援優秀賞に輝きました。衣装をそろえ、みんなで力いっぱい応援を行いました。事業所の利用者の皆さんは、毎年楽しみにしていると云います。スタッフ・ボ

ランティアなどの多くの方々のご支援・ご協力により運営できる大会です。今後も県をはじめ県民の方々のご理解に期待し、益々発展する大会にしたいと思えます。

第57回東北ブロック大会開催



第57回東北ブロック大会全体会

10月21日～22日の二日間第57回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会が、福島県郡山市磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」で開催されました。参加者は506名。山形県からは56名の参加でした。古川慎治氏（のぞみの園管理課長）の「中央情勢報告」では、障害者総合支援法施行3年後の見直しを中心に話されました。常時介護を要する障害者の支援が進展していくということですが、育成会が力を発揮するには、みんなの声を束ねて、声を上げていくことを強調していました。

二日目の記念講演は、渡部伸氏（親子あそびと相談室代表）による「親あるうちに親子あそびの準備を」でした。子どものことを話せる仲間が大事であり、状況は少しずつ良くなっていることと楽観的にとらえ、最低限の準備はしておくことを指摘していました。この二日間学ばべきものが多い有意義な大会でした。来年は山形が本大会を引き受けます。平成30年9月8日～9日、天童市が会場です。山形県育成会が結集して準備を進めていきます。

9月23-24日  
第4回手をつなぐ育成会全国大会  
北海道札幌大会に参加して



第4回全国育成会全国大会 特別分科会  
全国の理解啓発活動に関する学習会

全国の同じ立場の仲間たちに出会うためにワクワクした気持ちで参加した札幌大会でした。その中でも特別分科会は、参加者は少なかつたものの、とても活気があった分科会でした。「合理的配慮」理解啓発キャラバン隊全国サミットと称する特別分科会です。その名の通り、現在啓発活動を行っている人、これから啓発活動を作ろうとしている人たちが集まり、これからの活動についての具体的な質問が飛び交う、とても有意義な分科会でした。コーディネーターの又村あおいさんが、啓発活動は、福祉人権、社会の三つの教育に関わる素晴らしい活動だ、とおっしゃっていた事がとても印象に残りました。そして夜の交流会、二日目の記念式典での久保会長の挨拶でも啓発隊の事に触れており、今後の育成会活動として大変期待しているのだという事を感じてきた全国大会でした。

編集後記

今号より8頁から6頁だてになりました。県育成会の情報はコンパクトにまとめてお伝えします。会員の声をお聞かせください。

2017年度版

知的障害児者・自閉症児者のための

生活サポート総合補償制度

AIUの普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

被保険者  
(補償の対象者)

知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。

補償期間  
(保険のご契約期間)

2017年4月1日から  
1年間

掛金

入院2日目から補償プランB/  
掛金… 23,000円(保険料19,810円)  
入院4日目から補償プランA/  
掛金… 17,000円(保険料14,810円)

詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

担当代理店 株式会社 ジェイアイシー 南東北支店  
〒980-8485 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン18F  
TEL: 022-265-0010 FAX: 022-264-0081  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

引受保険会社 AIU損害保険株式会社 仙台営業支店  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル2F  
TEL: 022-726-7551 http://www.aiu.co.jp  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご加入のお問合せはこちら

山形県知的障害児者生活サポート協会  
〒990-0041 山形市緑町1-9-30 緑町会館4階  
山形県知的障害者福祉協会内  
TEL: 023-664-0256 FAX: 023-623-9123  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

(A-000722 2018-03)

◇編集委員【押切イツ子・武田満・山口由美子 事務局=黒木仁・古澤薫・八鍬三郎】